

# 学習評価の進め方ワークシート（算数）


## 【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点に3観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように児童を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、一単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyout.html>)国立教育政策研究所



### 小学校算数

新学習指導要領における  
学習評価の在り方

① 単元における学習評価の進め方  
単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

1	単元の目標を作成する	①、②については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
2	単元の評価規準を作成する	③については、①、②を踏まえ、評価場面や評価方法を計画する。
3	「指導と評価の計画」を作成する	④については、どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えた時、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
4	授業を行う	⑤に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。
5	観点ごとに総括する	⑥については基めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A・B・C)を行う。

② 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法  
【小学校学習指導要領 第5学年 目標】

【第5学年】

1 目標

(3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養ふ。

【学年別の評価の観点の趣旨 第5学年】

**Point!**

当該学年の目標の(3)の主体的に学習に取り組む態度の「観点の趣旨」を元に「指導要領」

( )年 単元名 ( )

### 1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。

### 2 単元の評価規準を作成する

<学習指導要領における単元の該当箇所> 学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。

(1) ( )に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

<内容のまとまりごとの評価規準> 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に作成しましょう。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

